

池田市内で活動する団体のイベント情報をお知らせします

あなたと会える、みんなと和える

# トアエル toaerl

新年度がスタート！  
リニューアルしたトアエルで  
お待ちしております。

トアエル事務局がコミュニティセンター2Fから1Fへ移転。  
今年度はトアエルと市民団体が協力して実施する「里山・あそび隊」の活動も  
11年目を迎えるなど心機一転。  
新しい空間・活動で、みなさまとお会いできるのを楽しみにお待ちしております。



2019年春号  
toaerl vol.5 spring 2019

**いけだ市活動交流エンジン「トアエル」**  
(池田市公益活動促進協議会)

トアエルマーケットを開催します！

- 日時: 2019年4月27日(土) 28日(日) 10:00～15:00
- 場所: 豊島野公園(池田市民文化会館隣)
- 内容: いけだ春団治まつり第3会場でのボランティア・NPO団体によるフリーマーケットや模擬店などの開催
- 申込み・問合せ先: いけだ市活動交流エンジン「トアエル」(Tel.072-750-5133)

**異病院**

ヘルスプロモーション

- 日時: 2019年①4月27日(土)②6月22日(土) 14:00～15:00
- 場所: 異病院総合リハビリテーションセンター
- 内容: ①身体の通信簿 改②筋トレ教室  
運動のできる服装で来院してください。
- 参加費: 無料
- 申込み: 不要
- 問合せ先: 医療法人マックスシール 異病院(リハビリテーション科 Tel.072-763-5100)

**NPO法人こもれび相談室**

エンディングノート活用術講座

- 日時: 2019年①4月10日(水)②5月8日(水)③6月12日(水) 14:00～15:30
- 場所: 池田市立コミュニティセンター
- 内容: ①導入編、②もしバナゲーム編、③実践編  
エンディングノートの意義を学びながら、一緒に書く講座です。
- 参加費: 500円
- 申込み・問合せ先: NPO法人こもれび相談室 (担当: 松田 Tel.06-6121-6670)

**五月丘地域コミュニティ推進協議会**

五月丘フェスタ2019

- 日時: 2019年5月18日(土) 10:00～15:00
- 場所: 五月丘小学校 体育館・校庭
- 内容: 【体育館】  
太鼓塾一輝・チアリーディングDEARS・渋谷中学校吹奏楽部・箏曲部・五月丘小学校PTAコーラス・池田市役所有志による忍者ショー・フリーマーケット・キッズランドのゲームコーナー  
【校庭】  
ストライクアウト・ホールインワンなどのスポーツゲーム・うどん・たこ焼き・喫茶・たい焼き・フランクフルト・たこせん・金魚すくい
- 参加費: 無料(フリーマーケット、模擬店は別途料金が必要)

**池田郷土史学会**

第68回記念講演会

- 日時: 2019年4月14日(日) 14:15～15:45
- 場所: 池田市立コミュニティセンター2階大会議室
- 内容: 北摂郷土史学運動と泡の頼之祐～池田郷土史学会の「生みの親」～
- 講師: 兵庫県立歴史博物館館長 藪田 貴氏
- 参加費: 無料
- 申込み・問合せ先: 池田郷土史学会(担当: 伊藤 Tel.090-8520-1629)

情報誌トアエルは4月、7月、10月、1月(毎月10日)に発行予定です。イベント等の掲載やチラシの組み込みを希望される方は、発行前月の10日までに事務局へご相談ください。メールマガジンでは、団体のイベント情報の他、助成情報なども配信いたします。配信・掲載を御希望の方はinfo@toaerl.jpまで必要事項をお知らせ下さい。●配信希望: 氏名、所属団体名、電話番号、配信先メールアドレス●掲載希望: イベント名、主催、日時、場所、内容、参加費、申込み・問合せ先など

**五月山児童文化センター**

「大人の特別講座」

- 日時: 2019年①4月24日(水)②5月22日(水)③6月26日(水) 13:30～15:30
- 場所: 五月山児童文化センター 図工室(池田市綾羽2丁目5-9)
- 内容: 毎月1回、素敵な講師さんと魅力的な内容で開催している大人向けのクラフト講座です。①「長寿・折り紙万華鏡」(中村一雄さん)②「コサージュ」(ゲレンチェル亜子さん)③「スタンドグラス～手鏡～」(松田亜希さん)
- 受講料①300円②1,000円③2,500円
- 申込み・問合せ先: 池田市立五月山児童文化センター (Tel.072-752-6301)

情報誌 **トアエル** 第5号(年4回発行)

発行所: いけだ市活動交流エンジン「トアエル」  
(池田市公益活動促進協議会)

発行日: 2019年4月10日

デザイン: 株式会社バード・デザインハウス  
印刷: セイコープロセス株式会社

〒563-0058 大阪府池田市栄本町9-1 池田市立コミュニティセンター内  
TEL 072-750-5133 FAX 072-750-5125 e-mail: info@toaerl.jp

https://toaerl.jp

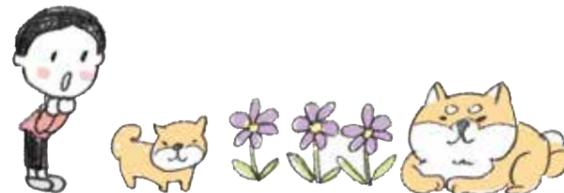
**きっずてつく**

室内遊びの会、おさがり交換会

- 日時: 2019年5月14日(火) 13:15～14:30
- 場所: 池田市立コミュニティセンター1階
- 内容: 未就学児親子で第二火曜日に室内遊びをしています(休みの月あり)。奇数月はおさがり交換会も実施。譲るだけ、もらうだけでも歓迎。お子さまが小学生以上の方も、譲っていただけるものがありましたらお気軽にお寄り下さい。
- 参加費: 無料
- 申込み: 不要
- 問合せ先: きっずてつく 正井 kidsandtech01@gmail.com https://www.facebook.com/KidsTechnikedashi/

**【募集】 広告でトアエルを応援しませんか**

情報誌トアエルは、現在5,000部を発行しています。紙面の充実や増刷発行に広告を通じて応援いただける方を募集しています。また、広告等に優待のある団体賛助会員や寄付についても随時受け付けています。寄付は、いただいた金額と同額を池田市が公益活動基金に積み立てるマッチングギフト方式が採用されており、詳しくは事務局までお問い合わせください。



# コミュニティセンターの利便性を向上

2019年4月より、トアエルは「コミュニティセンター」及びその2階「公益活動促進センター」に加え、女性相談や関連図書の貸出を行う1階「男女共生サロン」も管理運営を任せられることになりました。

については、来館者の利便性を高めるため総合受付を設置するなど一部レイアウトを変更し、サービスを統合いたしました。

詳しい内容、ご不明点はトアエルへお問い合わせください。

- 1F**
- コミュニティセンター受付およびその奥を総合受付とトアエル事務局に
  - 男女共生サロンには授乳スペースを設置予定

- 2F**
- 公益活動促進センターには、ロッカールーム(作業・会議にも使ってもらえます)を設置

統合するサービス

- ロッカーの貸与は引き続きトアエルが行います。→ 団体としての届出が必要です。その上でロッカーの賃貸契約をいたします。
- 印刷は引き続きトアエルで行います。→ 事前に原稿をいただければ、ご指定日に刷り上がった物をお渡します。紙の持ち込みは不要、操作はスタッフがいたします。

	電話番号	休館日 <sup>*1</sup>	開館時間
コミュニティセンター	072-751-5983	月曜	9時~22時
公益活動促進センター	072-750-5133	月曜、日曜・祝日 <sup>*2</sup>	9時 <sup>*3</sup> ~19時 <sup>*4</sup>
男女共生サロン	072-754-2891	月曜、日曜・祝日	9時~19時

\*1 12月29日~1月3日は全館休館 \*2 日・祝も貸室、ロッカー利用は可 \*3 市条例では10時開館

\*4 貸室は前日予約により21時まで可

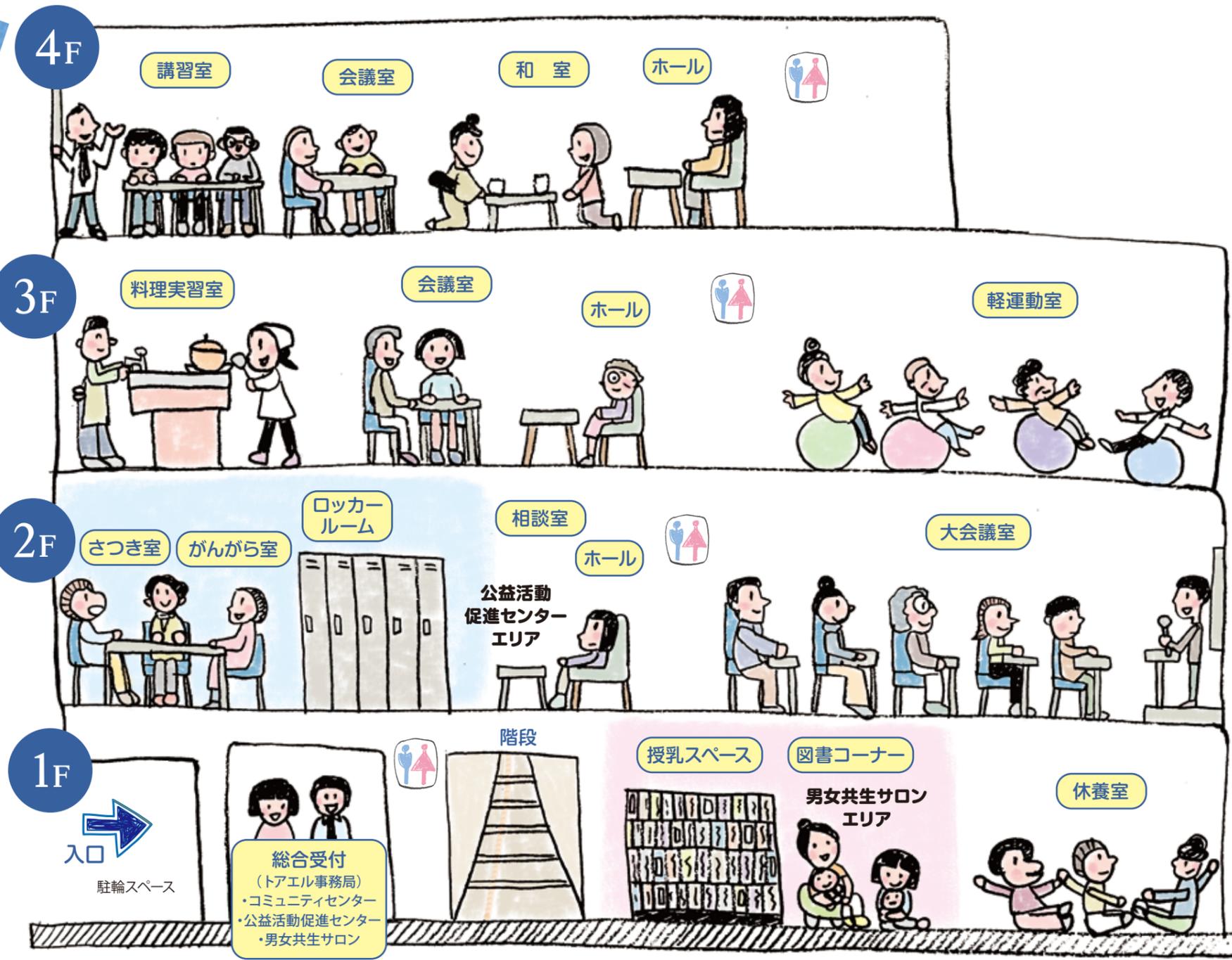
ここでしか聞けない話が満載の『トアエルカレッジ』が大好評のうちに無事終了しました!

6回+スピンオフ1回の計7講座にのべ人数68名が受講!



『インスタントラーメン開発物語』では公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団マネージャーの小池さんに、チキンラーメンなどの発明秘話をお話いただきました。『助成金活用講座』では「池田市公益活動助成金」の活用術を「いけだ地城栄養士会 葉菜の会」山下さんと「こもれび相談室」松田さんに、「アクティブシニア応援事業補助金」については池田市高齢・福祉総務課の綿谷さんにトークいただきました。『池田市でみられる生き物たち』について「池田・人と自然の会」松本さんと「五月山グリーンエコー」中川さんに秘蔵映像を交えて紹介いただきました。4講座以上を受講された皆さんには

トアエル三木会長から修了証が手渡されました。スピンオフ講座『クラウドファンディング10のヒント』ではクラウドファンディング認定サポーターの松田さんからは、ファンを巻き込んでプロジェクトを成功させる秘訣を、「ロジカ・アカデミー」の関さんや「阪大農学部」の田中さん、「五月山動物園」の瀬島さんからは、三者三様のクラウドファンディング成功失敗談を紹介いただきました。キッズスペースも好評でママ達にも参加いただける機会が持てました。受講いただいた皆さま、ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。来年度のカレッジにも、ぜひご期待ください!



・コミュニティセンター内には「しごと相談・支援センター」も設置されています。



FILE 07

池田日本語ボランティア友の会  
塩原 芳雄 さん  
門脇 安紀 さん



池田市でうわさのあの人にtoae1記者が  
突撃インタビュー!



FILE 08

阪大農学部ともだちの家  
木村 吉政 さん  
田中 琴子 さん  
野口 紘稔 さん



池田市に在住・勤務する外国人と  
その家族を日本語学習で支援

コミュニティセンターなどで外国人に日本語をレクチャーしている「池田日本語ボランティア友の会」。会長の塩原さんと副会長の門脇さんに、四半世紀に渡る会の取り組みを伺いました。



日本文化や日常会話の  
より深い理解のために  
学習者の要望にあった学びを

-25周年おめでとございます!  
設立当時のお話や、今も受け継がれる  
モットーなどを教えて下さい

塩原:「池田市に外国人が増えて日本語が話せず困っている、助けよう」と国木慈子さんが平成5年に市の広報で呼びかけたのが始まりです。初めからずっと原則1対1での学習支援を続けています。日常会話や文化を深く理解してもらうために、今後もこの姿勢を貫いていきたいですね。ボランティアと学習者の組み合わせは、3ヶ月毎に変わりますが、学習の連続性が保てるように引き継ぎをしっかりとっています。「先生が変わるたびに色々な経験ができて勉強になる」と言ってくれる学習者もいます。

門脇:学習希望者が来たら、コーディネーターが面接でレベルチェックをしてからボランティアと組み合わせます。今は63人の学習者がいて、その半数以上が東南アジアから来た20代の技能実習生です。

塩原:のべ学習者数が48カ国1000人を超えました。これは1対1の学習スタイルではかならない大きな数字ではないかなと思いますね。

仕事、自炊、仕送り、そして勉強  
つましく暮らす学習者が  
夢を叶えられるようサポートしたい

-ボランティアとしての心構えや楽しみは?

塩原:指導レベル向上のために、プロの日本語講師が行うレベルアップ講座を年に4回受講します。ボランティアに手当や交通費は出ませんし、役員や委員なども交代制で担います。大変ですが「仕事しながら勉強しよう」という意欲を持った学習者の姿や、キラキラ輝いた目を見られるのが1番のやりがいです。年2回『国際交流のつどい』を開き、学習者とボランティアの新睦を図っています。ボランティア同士もBB(美男美女)会と称して集まり楽しんでいます。

門脇:技能実習生は謙虚でまじめで、本当に遊んでいません。「家を建てる」「帰国して起業する」「日本企業で働く」など夢を持って頑張っています。なんとか将来へ希望を持って働いている人たちの役に立ちたい!と思わされますね。1対1で学習者との関係が深まるので、転動しても「池田に帰りたい」「日本の中で池田が一番いい」と電話をくれたり。先輩ボランティア数人でインドネシアに行った時は、帰国した学習者が揃い踏みで歓待してくれたそうです。

塩原:インドに帰国した子から「結婚するので式に来てほしい」と言われたことも。参加は叶いませんでしたが、とても嬉しかったですね。



塩原さん  
門脇さんの  
こうなったら  
いいな

塩原:入管難民法が施行されると外国人労働者がドッと増えます。我々に何ができるのか、みなさんと相談して共生の手助けをしたいです。  
門脇:国際交流センターとも協力して、激増する外国人のサポートを考えたい。25年間の運営資料や500冊以上の図書をまとめて保管する拠点のような場所もできたらいいなと思います。



<プロフィール>

塩原 芳雄さん  
池田日本語ボランティア友の会 平成30年度会長、伏尾台創生会議メンバー。池田市在住。2014年に知人から紹介を受けて友の会を知り「こんないい会があるのか」と入会。

門脇 安紀さん  
池田日本語ボランティア友の会 平成30年度副会長。以前はコーディネーターもつとめる。池田市在住。2009年に知人から話を聞いて友の会を知り、日本語ボランティア養成講座を「受けるだけでも」と受講。奥深い勉強があるのだと日本語ボランティアの道へ。

<インフォメーション・問合せ先>

日本語ボランティア友の会  
住所/563-0025 池田市城南3-1-40 池田市ボランティアセンター内  
TEL/072-753-8858  
ボランティア年会費/1800円(交通費なし、年4回のレベルアップ講座受講費を含む)  
学習者実費徴収(月)/500円(コピー代、教材書籍購入費などを含む)

<トピックス>

ボランティア会員になるにはどうしたら入会には、日本語ボランティア養成講座(2年に1度、池田市社会福祉協議会が主催、今年5月に募集開始)の受講が必要です。養成講座についてくわしくは「広報いけだ」、5月号をご覧ください。または上記問合せ先までお尋ねください。

国際交流センターなどと協力し  
共生のためにできることを

「地域に生き世界に伸びる」  
精神で、石橋や池田と  
つながっていききたい



「生活費かせぎ」のための動きが  
いつしか地域から注目される  
サークルに

-大学内にニワトリ小屋を建てたり  
学祭で100万円を売りあげたってホント!?

木村:2回生の時、学祭に出るために『阪大農学部』を立ち上げました。生活費を稼ぐためだったんですが(笑)。阪大に農学部はないので、サークル名に興味を持った新入生が「入りたい」と言ってくれて。ルールを設けず自由な発想でやろう!が活動方針です。学内に建てた小屋で烏骨鶏を飼育し、当局と揉めたことも(笑)。「学祭の常識を打ち破ろう」とスープから作ったラーメンや故郷宮城県の芋煮を出店すると、従来にはないメニューがウケてかなりの売り上げになりました。そんな活動が新聞でも取りあげられ、地域のいろんな方が話しかけてくれるようになり「池田駅前の空きテナントで何かやらないか」というお誘いを頂いて。みんなでアイデアを出すうちに「子どものころの友人の家って、みんなゲームやったりくつろげて、そこらにある本から知識を得られたりして良かったよね」と。地域の人とそんな風に交流したいねと、農学部を引退した3回生有志を中心に『ともだちの家』の運営が始まりました。

農学部がない大阪大学に非公認サークルとして立ちあがった『阪大農学部』。サンシティ池田地下1Fでフリースペース『ともだちの家』を運営しています。学内のみならず地域からも注目されている活動について、木村さん、田中さんと、たまたま居合わせた野口さんにお話を伺いました。

田中さんの  
こうなったら  
いいな

コタツで本に没頭  
童心に帰れる  
『ともだちの家』づくり

-オープンから今までのエピソードを  
教えてください

田中:資金をクラウドファンディングで支援いただいて、2018年10月に『ともだちの家』がオープンしました。入室は無料(カンパ制)で、入口で名前を書いたら自由にくつろいでもらえます。飲食も自由で料理を作る人もいたりして(笑)。冷蔵庫やテレビを先輩や近隣のご家族が譲ってくださったので、家具も充実してきました。ハンモックもありますよ。阪大生主催の「ボードゲーム大会」や、地域のお店とのコラボ企画「マサラチャイ飲み放題お茶会」などイベントを実施するようになってから、一般のお客さんが増えて。何もない日も、近くの麻雀教室に通うおじいちゃんがバナナをくれたり「そこでお弁当食べていい?」と入って来てくれたり。だんだんと地域とのつながりを実感できる場所になってきました。  
木村:応援してくれる人やお客さんがどんどん増えて。池田市というまちは、知り合おうと思えば知り合えるまちだと思いますね。



田中:阪大の美術部や手芸サークルに作品展示や販売いただくなどで、お客さんが「何かあるな」とフラッとここに入ってくる動機を作りたいですね。農学部らしく草木染めや蚕の飼育もやりたいねと話しています。このビルに図書館が移転してくると中高生も増えると思うので、ここにも来てもらえたら嬉しいですね。親以外の大人に出会える小さい学校みたいになればいいなと思います。

<プロフィール>

木村 吉政さん  
大阪大学経済学部 四回生、学生サークル『阪大農学部』設立者でOB。仙台市出身。小学生のころから生物や農業に興味を持ってメダカの品種改良や地元野菜(仙台雪菜)の栽培をする。大学入学後、阪大農学部を発足。学祭での活躍が目立って、阪大生協機関紙「Handai Walker」で「大阪大学で一番面白い教授と学生は誰か」学生部門で1位に選ばれる。空き店舗活用の誘いを受け「ともだちの家」を企画。

田中 琴子さん  
大阪大学経済学部 三回生、阪大農学部OG、ともだちの家 運営代表。福岡出身。興味を持っていた草木染めをしようと阪大農学部へ。3回生になってサークルを卒業した後、OB・OGメンバーと共に『ともだちの家』のためにクラウドファンディングに挑戦。開店後も地域の人と集える場所作りを企画し、運営している。

野口 紘稔さん  
大阪大学外国語学部アラビア語専攻一回生、阪大農学部メンバー。

<インフォメーション・問合せ先>

大阪大学非公認サークル 阪大農学部  
Twitter/@ou\_agriculture  
ともだちの家  
住所/563-0048 池田市服部町1-1 サンシティ池田BF1 15番  
営業日/不定期(週3日。平日17:00~21:00、週末13:00~21:00)  
詳しくは店頭またはTwitterへ  
利用料/無料(カンパ制)  
MAIL/tomodachi.house.ikedai@gmail.com  
Twitter/@tomodachi\_house

<トピックス>

本の寄贈等は随時受け付中! 今後は「じっくりボードゲームやる会」「積読消化会」などの独自企画をはじめ、「本格カレー会」など近隣飲食店とのコラボイベントも実施。最新情報はTwitterをチェック!

トアエルはこんな事業も行っています

# まちの遊学舎「里山・あそび隊」

## 祝 開催10周年

都会の近くにありながら自然豊かな「五月山」を有する池田市。そんな池田市に住みながら五月山の事を良く知らない子ども達に四季折々の様々なプログラムを通じて五月山の素晴らしさ、大切さを感じてもらおうと、五月山を舞台に活動している市民団体の協力のもと平成21年より始まった「里山・あそび隊」も10周年の節目を終えました。

# 春

さあ活動のはじまりです！

隊員達の初仕事は、1年間自分達の目印になる旗作り。葉っぱに絵の具を塗り押し当ててそれぞれの班オリジナルの旗が完成。

みんなでワイワイカレーライス作り

川の中にもたくさんの生き物がある事を知ってビックリ！

池田市で370年以上も続く伝統行事「がら火祭り」についても学びました。

自作のカマドで飯ごう炊さん

# 夏



五月山に生息している色々な虫を捕まえたり、飯ごうを使ってカレーライス作りにも挑戦しました。



アケビも食べたよ～！



五月山から見るまちの景色は最高



# 秋

秋は木の実探し。見つけた木の実を実際に食べてみました。甘かったり、酸っぱかったり。ドウダンツツジ等も植樹しました。

健全な山に育つよう間伐作業



# 冬



金槌とクギを使って巣箱を組み立て



冬には間伐作業を体験したり、来年の春にシジュウカラが使う鳥の巣を作って五月山に設置。子育てに役立ててくれています。

ハイ、チーズ！

茶白山古墳で記念撮影



この6月から11年目の活動がはじまります。魅力的な五月山で元気に遊び学びたい隊員を募集します。詳しくは市内小学校で配られるチラシやトアエルのFacebook、里山・あそび隊の活動ブログをご覧ください。

子どもたちを見守るリーダーも募集します。専門的な知識は不要です。中学生以上で、一緒に活動できる方をご連絡ください。

トアエルFacebook <https://www.facebook.com/toael/>  
里山・あそび隊ブログ <http://satoyamaasobi.jugem.jp/>